

南海トラフ地震臨時情報を 知っていますか！？

過去には、南海トラフの東側と西側で大規模地震が時間差で起きた事例があります。

南海トラフでM 6.8以上の地震が起きた場合や、いつもと違う「ゆっくりすべり」という現象が観測され、注意が必要と判断される場合には、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。 ※ 地震の予知ではなく、注意を促す情報です！（デマに注意！！）



地震は一度では終わらないかも

～時間差で起きる場合も～

〔過去事例〕

1854年
安政東海地震

M8.6

約32時間後

M8.7

1854年
安政南海地震

1944年
昭和東南海地震

M8.2

約2年後

M8.4

1946年
昭和南海地震

※Mはモーメントマグニチュード

※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。

（出典：内閣府ホームページ）

M6.8以上の
地震発生

発生から5分～30分後

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

防災対応をとる必要あり

プレート境界の
M8.0以上の地震（※1）

M7.0以上の
地震（※2）

ゆっくりすべり
（※3）

南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震警戒）

南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震注意）

必要なし

それ以外

南海トラフ地震臨時情報
（調査終了）

普段から、住宅の耐震化や家具の固定、備蓄をしておこう！

右のような発表があった場合には、
「1週間の事前避難」や「備えの再確認」、「特別な備え」を
した上で、日常生活を送ってください。

「日頃からの地震への
備えの再確認」の例

「特別な備え」の例



南海トラフ地震臨時情報

（**巨大地震注意**）が発表された場合

「日頃からの地震への備え」の再確認、
「特別な備え」を実施するなど、
1週間程度は注意して過ごしましょう。

南海トラフ地震臨時情報

（**巨大地震警戒**）が発表された場合

上記に加えて、
津波からの避難が間に合わない方や
避難に支援が必要な方は、1週間は
津波の来ない場所にお住まいの親戚・
知人宅等に「**事前避難**」しましょう。



静岡県 危機管理部 危機政策課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
電話 054-221-2456

詳しくは
県のホームページで



イラストで見る 南海トラフ地震臨時情報

「南海トラフ地震臨時情報」の発表時にとるべき防災対応や社会状況などについてイラストを見てイメージしてください。

AM5:00 就寝中に緊急地震速報で目が覚める

直後にガタガタと揺れ出したため、布団に潜って身を守る

地震により物が散乱したものの大きな被害はないことを確認



AM5:03 太平洋沿岸に大津波警報発表(同報無線)

AM5:05 浜松市から「避難指示(緊急)」のエリアメールが届き、最寄の津波避難タワーに避難開始



AM5:35 南海トラフ地震臨時情報(調査中)発表

AM5:40 タワー上から津波で陸地が僅かに浸水する様子を確認



AM7:00 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表

「後発地震に備え、日頃の備えを再確認するとともに、津波の危険性が高い地域は1週間避難を継続する」と内閣総理大臣が呼びかけている映像をスマホのテレビで確認



PM1:00 タワーの上で家族で持参した食料を食べる



PM8:00 そのまま家族で夜明けまで待つことにした



翌日AM5:00 大津波警報が解除され、津波注意報に切り替わる

市内内陸部の親戚に電話し、使っていない部屋を1週間使わせてもらうことになった
内陸部は、普段と変わらない生活を送っているとのこと



※南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)は継続していて、その後1週間続く。